

林 務 課

森林づくりは道づくりから始まります!

五島列島のスギ・ヒノキの人工林面積は約 18,000ha あり、その森林資源は充実しつつあります。今後、木材生産の本格期を迎えていきますが、そのためには、木材を搬出するため、林業で使用する“道”が不可欠となります(“道”は以下の3つに区分されます)。

林 道



上五島縦貫線

森林整備や木材生産を行うための幹線となるもので、一般車両の通行可能な、地域産業の振興を図るために開設される道

林業専用道



川原線(岐宿町)

10t 積のトラック等の通行を想定した道で、林道を補完し、森林作業道と組み合わせて森林施業に供するための道

森林作業道



森林整備や木材の搬出などをする林業機械の通行を想定し、構造物は設置せず、メンテナンスしながら利用される道

『林道から効率的に森林作業道を開設することで適切に森林が管理されます(事例)』



現在、林道として、南部憩坂線(五島市)と上五島縦貫線(新上五島町)、林業専用道として、川原線(五島市)などを整備しています。森林作業道は、搬出間伐がされている森林において適宜、開設されています。

“道”を開設することで、森林破壊のイメージを持つ方もおられますが、“道”がなければ、森林整備は進みません。つまり、道を作ることで、森林がより健全な状態で保たれます。正に、『森林づくりは、道づくりから始まります!』。今後、木材生産を行い、森林の有する働きを高度に発揮させるためには、“道”の開設が必要です。皆様のご理解とご協力をお願いします。